

SIP自動運転 成果展示会

世界初!自動運転レベル3

ホンダ・レジェンドなど
最新の自動運転車が集結!



<https://sip-adus-exhibition.com/>

SIP自動運転では、2014年第1期開始からの9年間の集大成となる成果展示会および自動運転シンポジウムが3月7・8日（火・水）、秋葉原UDXにおいて、経済産業省および国土交通省との共催により開催されました。



金沢大学では、東京臨海部（お台場、羽田）において、インフラ協調型自動運転＋自律型自動運転にて実証実験を実施し、自動運転での走行距離は、約4,000kmの実績となっています。

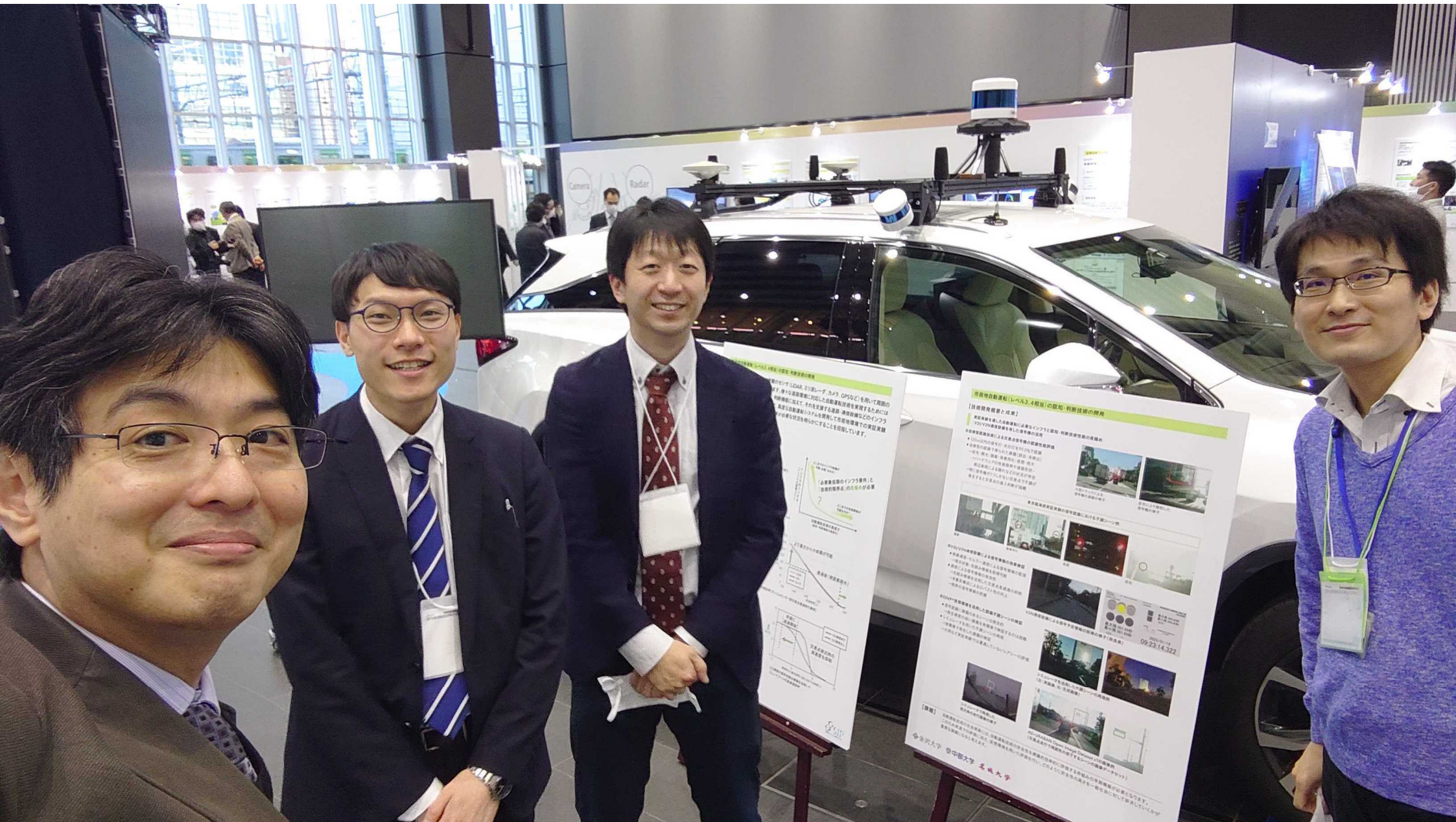
今回、SIP自動運転成果展示会にて実証実験に使用した自動運転車両の展示を行いました。





© 2023 KANAZAWA University





【図説】自動運転車（レベル4）の認知・判断技術の現状

認知・判断技術とは、カメラ、レーダー、LiDAR、GPSなどを用いて周囲の環境を認識し、その結果に基づいて自動運転制御を実行するための高度なソフトウェア技術である。高度な自動運転システムを実現するには、高度な認知・判断技術の開発が不可欠である。

高度な認知・判断技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

【図説】自動運転車（レベル4）の認知・判断技術の現状

認知・判断技術とは、カメラ、レーダー、LiDAR、GPSなどを用いて周囲の環境を認識し、その結果に基づいて自動運転制御を実行するための高度なソフトウェア技術である。高度な自動運転システムを実現するには、高度な認知・判断技術の開発が不可欠である。

高度な認知・判断技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

09.23.14.322

【図説】自動運転車（レベル4）の認知・判断技術の現状

認知・判断技術とは、カメラ、レーダー、LiDAR、GPSなどを用いて周囲の環境を認識し、その結果に基づいて自動運転制御を実行するための高度なソフトウェア技術である。高度な自動運転システムを実現するには、高度な認知・判断技術の開発が不可欠である。

高度な認知・判断技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。

高度なソフトウェア技術の開発には、高度なソフトウェア技術の開発が不可欠である。